

主要手段4

多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(1) 多様性がまちの原動力になっている

本市は、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなど、多様な人々から成っています。その傾向は、グローバル化の進展の中で、今後さらに急速に進んでいきます。私たちは、命への共感に基づき、その違いを受け入れ、理解し、ともに生きていく努力を重ねる必要があります。

違いを受け入れ、ともに暮らしていくことは、必ずしも容易なことではありません。

私たちは、コウノトリ野生復帰の取組みを進めるにあたり、異なった意見を持つ人々との対話を重ね、お互いの立場を理解したうえで粘り強く議論を重ね、再びコウノトリを大空に帰すことができました。環境経済戦略は、環境と経済の対立を克服するものとして考案されました。

■取組方針

女性、高齢者、障がい者や外国人等の多様な人々が、地域社会や地域経済の担い手として期待され、現に活躍するまちづくりを進めます。

とりわけ、本市において女性の若者回復率が男性の半分しかない実態や常態化する人手不足を考えると、地域社会と地域経済の両方において「多様性を受け入れ、互いに支え合うまち」へと、まちづくりの舵を切っていくことは喫緊の課題でもあります。

ア 多様な人々がまちづくりや経済活動の中で生き生きと役割を果たしている

イ 多様性の価値が理解され、生かされている

まちや組織の中に多様な人々がいて、対話を通じて共感を育みながら違いを乗り越えていく習慣がまちの中に根付けば、まちや組織の活力となります。

同時に、多様性の存在は、社会経済の急激で劇的な変化が予測される中であって、まちや組織の適応力を確保するうえで不可欠な要素となります。

互いの存在を当然のこととして大らかに受け入れ、折り合いをつけながら共生するまちを教育、社会、経済、文化などの活動の中で築いていきます。

ア 多様な人々がまちづくりや経済活動の中で生き生きと役割を果たしている

女性、高齢者、障がい者や外国人のまちづくりへの参加や就労等の社会参加を高め、誰もが普通にまちに出て、働き、暮らすまちづくりを進めます。

【4年間の事業例】

- 女性の就業や社会参加を促します。特に子育て中の女性のために、一時預かり保育、病児・病後児保育、休日保育などの保育サービスを充実します。
- ワークライフバランスを普及・推進します。
- 高齢者の創作活動、就労や社会活動への参加を支援します。
- 障がい者の就労の場づくりや芸術活動など、潜在的な能力が生かせるよう支援します。
- 海外の大学等と連携して、外国人のインターンシップ受入れを進めます。

等

イ 多様性の価値が理解され、生かされている

多様な人々が互いを理解しコミュニケーションを深めることで、様々な視点や知識が生かされ、まちの課題を解決する能力も高まります。市民が多様性を理解し享受する社会をめざします。

【4年間の事業例】

- 専門職大学の開校に向けて、教授などの専門分野の人材の活用を検討します。
- 多様な他者を理解する市民を増やすための、研修会等を開催し啓発を進めます。
- 小中学校で意見の異なった人の話を聞く力を子どもの頃から身につける「コミュニケーション教育」や個性の理解を深める人権教育を促進します。

等

主要手段4

多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

具体的手段(2) さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

人は、支え合いなしには生きていくことができません。そのことを私たちは、平成16年(2004年)の台風23号災害をはじめ、各地のさまざまな災害の中で家族やコミュニティのつながりの大切さを実感し、学んできました。

つながりの中には役割があります。役割は他者からの期待であり、その役割を果たすことによって自身の存在意義を確認できる重要な機能を果たします。

本市内では、食農・環境・防災教育などのいのちの教育や被災地支援などのほか、不登校や引きこもりのための「居場所づくり」が実践され、さまざまな活動を通して若者の役割が実感できる場となっています。

■取組方針

すべての人々が自分の能力を生かして活躍する社会を実現するためには、様々な組織のつながりが必要であり、人々の居場所づくりを進めていきます。

- ア つながりを創る人や組織の活動が増えている
- イ つながりを醸成する場が増えている



障害福祉事業所による授産製品の販売

また、市内 29 の地域コミュニティ組織では、「自分たちの地区は自分たちで守る」ことを基本に、地域づくりや課題解決のために、地区内のさまざまな人々が役割を持ち、連携して取り組みを行っていくことが期待されます。

地区や図書館、文化芸術関連施設、市庁舎などのさまざまな場所において、障がいの有無、性別、年齢差、国籍の違い、価値観・文化・習慣の違いなどに関わらず、人々をつなぎ、居場所と出番を提供する仕組みや取り組みを進めます。

ア つながりを作る人や組織の活動が増えている

多様な人々が地縁や国籍、特技や思想などを基に、いろいろな組織やコミュニティに参加できるよう「つながりづくり」を支援します。さらに、組織やコミュニティの活動を組織間の協働に発展させ、地域の活性化へとつなげます。

【4年間の事業例】

- 外国人や子育て中の女性なども参加できるゆるやかな組織化を支援します。
- 組織やコミュニティの活動を促進する中間支援組織の立ち上げを支援します。
- 社会的に立場の弱い人たちも、地域の中で生き生きと活躍できる場や機会を増やします。
等

イ つながりを作る場が増えている

つながりができ、集う場ができれば、そこに役割が生まれます。様々なニーズに応じた居心地のよい場所が増えるように支援します。

【4年間の事業例】

- 当事者組織（認知症カフェなど）が市内各地に組織化されるよう支援し、市民とつながる機会・場所を増やします。
- 公共施設を活用し、多様な人々が気軽に利用できるカフェやくつろぎの場を増やします。
- 演劇を用いたワークショップ等の開催により、他者を理解する術（すべ）の普及を図ります。
- 幼児期の運動遊びの実践を踏まえ、発達障害の子らの運動療育の推進を検討します。
等

主要手段4

多様性を受け入れ、支え合うリベラルな気風がまちに満ちている

目標値

具体的手段(1) 多様性がまちの原動力になっている

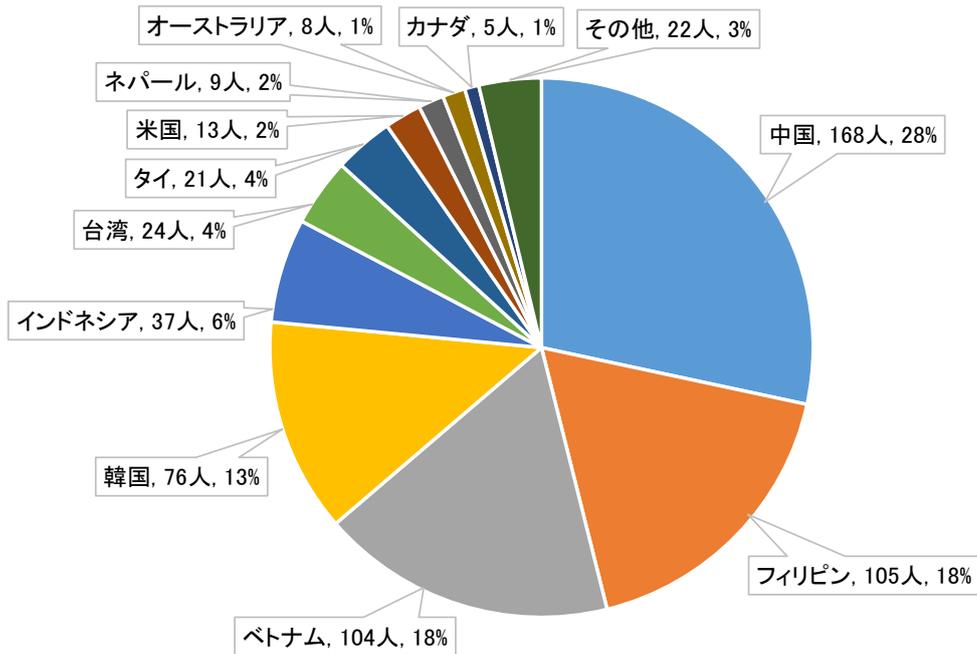
評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
女性の就業率（国勢調査）	68.8% (H27)	70.0% (H32)

具体的手段(2) さまざまなつながりの中に、それぞれの役割が果たされている

評価指標	現状値 (H29年度)	目標値 (H33年度)
組織やコミュニティの活動を促進する中間支援組織の設立	なし	あり

関連データ

■市内在住外国人の状況（23カ国 592人／平成28年度末）



資料:住民基本台帳

■潜在労働力（未就業中の子育て女性層・シニア層）を把握するためのアンケート調査結果

	子育て女性層				シニア層			
	20 歳代	30 歳代	計	割合	60 歳代	70 歳代	計	割合
未就業者	51 人	147 人	198 人	100.0%	208 人	257 人	465 人	100.0%
うち 仕事をしたい人	41 人	129 人	170 人	85.9%	93 人	71 人	164 人	35.3%

資料:エコバレー推進課資料（平成 29 年市民アンケート調査結果抜粋）